

ジョージア政治・経済 主な出来事

【2016年7月4日～2016年7月10日】

〔当地報道をもとに作成〕

平成28年7月13日

在ジョージア大使館

1. アブハジア・南オセチア

【アブハジア】

▼「アブハジア共和国内相」の権限停止(6日)

・5日、ザプシバ「アブハジア共和国内相」が「内務省」の職員に10日に行なわれる予定の住民投票に参加しないよう圧力をかけたとして、野党勢力が同「内相」の辞任を求め、「内務省」付近で抗議デモを行なった。デモの参加者は「内務省」への突入を試み、約20人の負傷者が出た。野党は、住民投票の実施を秋に延期するよう要求。

・ハジンバ「アブハジア共和国大統領」は、野党の求めに一部応じ、ザプシバ「アブハジア共和国内相」の権限の停止を命令。

▼「大統領」選挙の前倒しをめぐる住民投票(10日)

・「大統領」選挙の前倒しをめぐる住民投票が実施されたが、「アブハジア共和国中央選挙委員会」によれば、投票率は1.2%（有権者数133,000人）。住民投票の結果が有効と認められるには50%以上の投票率が条件とされており、住民投票は成立しなかった。

2. 外 政

▼OSCE議員会議(1日～5日)

・5日、OSCE議員会議年次総会は、安全保障、経済、環境、人権など様々なテーマにわたる十余りの非拘束的な決議を含む「トビリシ宣言」を採択。

・決議の一つはジョージアの紛争に関するもので、ロシアに対し、2008年8月12日の停戦合意の「完全かつ誠実な履行」およびアブハジア・南オセチアの「承認の撤回」を求めている。また、ロシアに対し、ジョージアの被占領地域における国際的な安全保障メカニズムの設置を可能にし、EUモニタリング・ミッションの被占領地域へのアクセスを保障するとともに、元の居住地への全ての国内避難民・難民の安全かつ尊厳ある帰還を実現させるようロシアに促している。ウスパシヴィリ国会議長は同決議の草案をめぐる議論で、「ロシアが国際法の基準に従い、一般市民の権利が守られるよう、議員会議がジョージアの紛争の問題を取り上げ続けることが極めて重要である」と述べた。

・同5日、OSCE議員会議議長選挙が行なわれ、ジョージアから立候補していたツェレテリ議員（統一国民運動）は、決選投票でオーストリアのムットネン国会議員に敗れた。統一国民運動のパートナーである欧州人民党が「ツェ」議員を支持した一方で、ジョージアの与党ジョージアの夢・民主ジョージア党は「ム」議員を支持した。

▼モンテネグロ国会議長のジョージア訪問(4日～5日)

・OSCE議員会議に出席するためパヨヴィチ・モンテネグロ国会議長がジョージアを訪問。ウスパシヴィリ国会議長、ジャネリゼ外相らと会談。

・「ウ」国会議長との会談では、二国間関係・協力の発展、OSCE議員会議、両国のEU・NATO加盟プロセスなどについて議論した。「ウ」国会議長はモンテネグロのNATO加盟を改めて祝った。共同記者会見で、「パ」モンテネグロ国会議長は、モンテネグロのNATO加盟は、NATOの扉が開かれているということを示す他の国々への力強いメッセージであると述べた。

▼ケリー米務長官のジョージア訪問(6日～7日)

・ケリー米務長官がジョージアを訪問。マルグヴェラシヴィリ首相、ウスパシヴィリ国会議長、クヴィリカシヴィリ首相、野党代表者らと会談。

・「ク」首相とジョージアとの国防・安全保障パートナー関係を深める覚書に署名。「ケ」米務長官は、覚書は「安全保障のパートナー関係およびジョージアの国防能力の向上に向けた共同の取り組み」を規定するものであると述べた。「ク」首相は、覚書はジョージアの国防能力の強化・向上のために極めて重要な全ての分野を含んでおり、「ジョージア・米国間の非常に重要な戦略的パートナー関係を改めて裏付けるものである」と述べた。

・「ケ」米務長官は、ウクライナやシリアなど多くの国際的な問題のために、ジョージアのNATO加盟のプロセスには遅れが出ているが、望みを失うべきではないと述べた。

・6日、米・ジョージア戦略的パートナー委員会会合が開催され、「ク」首相と「ケ」米務長官が出席。

▼ジョージア軍統合参謀長のウクライナ訪問(6日～8日)

・カパナゼ・ジョージア軍統合参謀長がウクライナを訪問。ムジェンコ・ウクライナ軍統合参謀長と、大規模な共同軍事演習の実施や軍事協力における協力などについて会談。

・ポルトラク・ウクライナ国防相とも会談し、地域情勢や軍事協力の強化について議論した。

・「カ」ジョージア軍統合参謀長は、ジョージア軍将校8名も参加しているウクライナ西部での多国籍軍事演習Rapid Trident 2016を視察。

▼NATO首脳会議(8日～9日)

・ワルシャワでNATO首脳会議が開催され、マルグヴェラシヴィリ大統領が出席。「マ」大統領はストルテンベル

グ NATO 事務局長と会談し、ジョージア・NATO のパートナー関係および協力の更なる強化について議論した。

・8日、NATO・ジョージア委員会外相級会合が行なわれた。会合後に発表された共同声明によれば、NATO とジョージアは「ジョージアの国防能力、相互運用性、回復能力の強化に向けた新たな措置」について合意した。共同声明は、NATO・ジョージア実質的パッケージの実施における「重要な進展」を列挙しつつ、「NATO はジョージアの防空体制・空域監視の発展を支援する」「ジョージアの国防能力および NATO との共同運用性の強化を目指し、NATO 加盟に向けた準備において、ジョージアの前進を支援する」と述べている。また、ジョージアと NATO との関係は、「ジョージアの最終的な加盟を準備するためのあらゆる実質的な手段を具えている」としつつ、NATO 加盟には加盟行動計画 (MAP) が必要であると改めて確認している。同時に、ジョージアが将来 NATO に加盟するとの 2008 年のブカレストでの首脳会議の決定を強調。

・NATO・ジョージア委員会外相級会合に出席したジャンネリゼ外相は、フランス、オランダ、カナダ、スロバキア、イタリア、クロアチアなどの外相と会談。

3. 内 政

▼アチャラ自治共和国政府首班の辞任(6日)

・ハバゼ・アチャラ自治共和国政府首班が辞任。会見では、「ジョージアの夢」が政権に就いて以降、アチャラ自治共和国では「あらゆる方向で大きな進展があった」と強調し、今後、「ジョージアの夢」とともに選挙運動を活発に行なう意向を示した。

・大統領が政府との合意のもとで指名する新たな候補者が自治共和国最高会議によって承認されるまで、「ハ」氏は首班代行を務める。

▼ダリアリ峡谷の道路の一部再開(6日)

・6月23日より不通となっていた、ロシアとの国境付近に位置するダリアリ峡谷の道路の通行が部分的に再開された。

▼NATO首脳会議に向けた与野党の共同声明(8日)

・ワルシャワでの NATO 首脳会議を控え、国会の与野党 6 党、ジョージアの夢・民主ジョージア党、共和党、保守党、国民フォーラム、統一国民運動、自由民主主義者党が、NATO 加盟の追求の方針を改めて確認する共同声明を発表。声明には、マルグヴェラシヴィリ大統領、ウスパシヴィリ国会議長およびクヴィリカシヴィリ首相も署名した。

4. 経 済

▼2016年1月～6月の入国者数(4日)

・内務省が発表。2016年1月～6月の入国者数は2,636,313人、前年同期比12.9%増。

・2016年6月の入国者数は517,038人、前年同月比4.1%増。出身国別では多い順にアゼルバイジャン(前年同月比1.9%増)、アルメニア(同3.9%減)、トルコ(同7.2%減)、ロシア(同4.4%増)、ウクライナ(同35.3%増)、イスラエル、イラン、カザフスタン、ポーランド、ベラルーシ。EU諸国からの入国者数は同12.2%増。

▼2016年6月のインフレ率(4日)

・国家統計局が速報値を発表。月間インフレ率はマイナス0.9%。食料品・非アルコール飲料の価格が2.6%低下、輸送費が1.7%上昇。

・年間インフレ率は1.1%。アルコール飲料・タバコの価格が11.6%上昇、医療費が4.3%上昇、輸送費が9.5%低下。

▼世界銀行による評価(7日)

・クヴィリカシヴィリ首相は、世界銀行による最新の評価でジョージアが低所得国から中・高所得国に変更されたとして、「この変更はジョージアの国際的な投資対象としてのイメージおよび知名度の上昇の観点から重要である」と述べた。